

ARAI NEWS



ヘルメットにおいて「軽さ」は、大切な目標です。アライは、数ある先進素材の中でも、ヘルメットに最も適した素材だと考えられるスーパーファイバーを世界に先駆けて採用し、そのスーパーファイバーと各種素材を組み合わせたc/cやスーパーc/cといった帽体構造により、強く柔軟性を持ち合わせ、しかも軽量の、理想のヘルメットを追い求めています。



しかし、ヘルメットの軽量化といっても、単に手に持った軽さだけで判断してはいけません。軽さ以上に大切な安全性能を抜きにしてはならないからです。



一口に安全性能といっても、その目安となるJISやスネルといった安全基準だけを目安にするだけでは、不十分です。と言うのは、厳しい安全基準として有名なスネル規格でも、実はテストの対象となるのはヘルメットの上部だけなので、テスト範囲外であるヘリ部分の厚みを薄くすることで、帽体を軽くすることも可能だからです。どんなに強い帽体材料でも、ヘルメット全体に十分に厚みが行き渡ってなければ無意味です。しかし、実際の事故ではヘルメットのヘリ部分に衝撃を受ける例が少なくありません。従って、安全基準だけでなく、ヘルメットを選ぶときには、自分自身の手で、プロの一流選手がそうしているように、ヘリ部分を両横からグッと押し潰す

ようにして強度を確かめてください。



それだけではありません。人間はヘルメットの重量の3倍もある約5キロの重たい頭を一日中頭に載せています。それでも目方を感じないのはうまく重心で支えているからです。従ってヘルメットもちょうど重心が頭と同じ位置にあれば目方を感じないはずですが、ただ構造上、ヘルメットの重心はどうしても頭より上の方にきます。このヘルメットの重心位置の差が、首への負担の差となるわけです。例えば、軽量化を計るためにヘリ部分を薄くしたヘルメットの重心は頭の位置より50ミリ以上も上にきて、手に持った重量以上に疲れます。逆にヘリ部分まで厚くして強度が確保されているヘルメットは重心が下がって、手に持った以上に疲れが少ないヘルメットになります。ARAIはヘリ部分まで厚みを確保し丈夫にすることによって、その重心は一般のヘルメットより10ミリ以上も低く、安全だけでなく、首への負担も軽くしています。ヘルメットの重量を比較するときは、必ずかぶって、さらに頭を振ってみて首への負担の大小を確かめて下さい。



アライは、単に「軽さ」を求めただけでなく、ヘリまで頑丈でしっかりとした安全性能を持ち、重心位置が低く疲れの少ない、軽いヘルメットを作り続けているのです。

理想の「軽さ」を求めて

(株)アライヘルメット
 〒330 埼玉県大宮市東町2-12
 TEL(048)641-3825~7



●アフターサービスの窓口は品質管理課です。
 製品の事なら、お気軽にご相談ください。
 直通 TEL(048)645-3661